
聖クリオネ女学院TOLANPU寮

あいりこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

聖クリオネ女学院TOLANPU寮

【Nコード】

N9442Z

【作者名】

あいりこ

【あらすじ】

聖クリオネ女学院、それは金の有り余ったお宅の淑女の皆様がいく学校、すなわち

超お嬢様学校である。

そしてその東京ドーム100個分もある馬鹿デカイ敷地面積の中の一角にある生徒寮区域さらにその一番端にあるTOLANPU寮そこはこの学院の中でもっとも変わった六人の住家である。変わっているといってもべつに外見が悪い訳でも悪趣味な訳でもない。むしろ

る外見は上の上、学院内のアイドルのような存在だ。だったら何が
変わっているのか、それは読んでいくうちに分かる。

では俺こと松原拓真が体験するTOLANPU寮の非日常的な日常
をご覧くださいだこう。

これはどこいでもあるストーリーで、どこにでもあるキャラ設定
の、どこにでもあるドタバタ学園コメディですw

プロローグ「こんなはずじゃなかった」

聖クリオネ女学院、それは金の有り余ったお宅の淑女の皆様がいく学校、すなわち

超お嬢様学校である。

そしてその東京ドーム100個分もある馬鹿デカイ敷地面積の中の一角にある生徒寮区域さらにその一番端にあるTOLANPU寮そこはこの学院の中でもっとも変わった六人の住家である。変わっているといってもべつに外見が悪い訳でも悪趣味な訳でもない。むしろ外見は上の上、学院内のアイドルのような存在だ。だったら何が変わっているのか、それは読んでいくうちに分かる。では俺こと松原拓真が体験するTOLANPU寮の非日常的な日常をご覧くださいだこう。

これはどこいでもあるストーリーで、どこにでもあるキャラ設定の、どこにでもあるドタバタ学園コメディですw

「若那のバカー!!!」

ドッカーン!!!

バリーンっ!!!

二階からものすごい爆発音が聞こえる。

「朝から騒々しいな。」

新聞片手にコーヒーを飲んでるのは寮長の神田友華だ。不平を言うものの様子を見に行く気配は全くない。

「ねえダイアのネックレスとパールのネックレスどっちがいい？」

「どちらでもでもよろしいんじゃない??」

「ええ〜それじゃあ困る〜」

「どうせいつも同じ制服なんだからどっち付けたって大して変わりませんわよ。」

朝っぱらからダイアだパールだと騒いでいるのは“お兄様大好き娘” 黒木千奈津。

それを呆れ顔であしらっているのが“超スーパーハイパー男嫌い”の五十嵐美波である。

「何すんのさこの天然くるくるパーマ!!」

ズシャーんツ!!!

バリバリバリバリツ!!!

また何かが壊れる音がする。

「今日もいいお天気ね〜w」

この騒々しい中で1人ニコニコしている雪村美雪は天然記念物並のマイペースぶりを発揮している。

ちなみに現在俺たちがいるのは完全なる屋内であり美雪さんは窓の外を眺めているわけでもないので何をもっていい天気だと判断しているのかは全くの謎である。

「好きでくるくるしてる訳じゃない!!」

ズゴーンツ!!!

メキメキメキメキツ!!!

おいおい…家がきしみ始めたぞ…（また）
そして次の瞬間

ドッテーンツ！！！

何かが天井から降ってきた。ああ、頼む。頼むから降ってきたのは天使か妖精か何かその他の俺に救いを与えてくれるものだと言ってくれ。

「いてててて…。」

ちがかった。

「お前、あいつらと目に行ったんじゃなかったのかよ??」

「いや、それがさ、止めようとしたらぶっ飛ばされちまってさ、へへへ」

なーにが「へへへ」だ。なんか付けてんじゃねーよ！！！！気色悪い！！

この天井から舞い降りてきた（というか正確には突き落とされた。）のはDM変態バカである。こいつは俺に救いを与えるどころかトラブルの種を振りまいていく貧乏神のような存在だ。一応、長嶋和樹って名前があつたりなかつたりするが所詮はただの変態バカで使えない野郎なのでどーでもいいとしよう。

「いい加減にしろ！！！！」

さつきからも凄惨な音をたてている一年コンビー之瀬若那と早乙女恵利に友華がついにキレタ

とはいっても寮長がキレたのは二人が騒いでいたからではなく、二

人が天井（二階から見たら床だけ…）に開けた穴から何やらよくわからんもんが降ってきてそれが彼女の飲んでいたコーヒーにチャポツてしまったからだ。寮長にとって朝のコーヒーはその日一日において最も大事だったりするのでそのコーヒーになにかがチャポるなんてことは許されないのだ。

「お前ら今すぐおりてこい！！！」

寮長の声が領内に響く。

「若菜が悪いんだよ！！！」

「はあ！！？最初にやったの恵利ジャン！！！」

叱られた二人はお互いに罪をなすりつけ合いながら降りてきた。天井の穴から。階段を使えよ階段をつ！！！！！！

「グハツ！！！」

しかし着地地点は素晴らしい。

二人に踏み潰された変態野郎は完全にノックアウト状態だ。

「一体朝から何やってんだっ！！！！だいたい誰が片付けると思ってる！！！」

「「拓真。」」

即答すんなっ！！！！そして俺を指さすなっ！！！！まったく親に習わなかったのかよ、人を指さしちゃいけないんだぞっ！！！！

「ほら、さっさとお片付けになったら??？」

ものすごいドヤ顔で美波が見てくる。…くっ。こんなドヤ顔如きに

負けてたまるかっ
俺だってドヤ顔くらい…

「何を突っ立っていらっしやるの?? (嫌味なスマイルからの睨み)」

「はい、すみません。」

弱い!! 弱いぞ俺っ!! だがこれもこの寮で生きていくためには仕方ないのだ。俺だってまだ花の高校生をエンジンジョイしたいんだっ!! (涙)

コイツ等朝っぱらから…。二階の有様をみて俺はこの年にして走馬灯を見るかとおもった。

よくもまあこう毎日毎日飽きもせず寮内を壊してくれるものだ…。
。 いったい何をそうしたらこうなるんだよ。

廊下の窓ガラスは全滅、ドアは三枚壊され、花瓶が割れて辺りが湖とかしている。そして廊下のど真ん中にはでっかい穴がぁいている。こんなんじゃ片付けるにも廊下の半分から先に進めやしない。

ああ、何で俺だけ。これは何かの間違いだ。

TOLANPU寮がこんな地獄のような場所だったなんて。俺はこんな最悪な毎日を送るために此処に来たんじゃない、俺は歴史上最高の高校生活を送るためにここへ来たのに…。なんで俺が。全ての始まりはあれだあの入学式の日…。

ブログってこんなはずじゃなかった（後書き）

感想や指摘がありましたらお願いしますw
アドバイスなどじゃんじゃんください。。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9442z/>

聖クリオネ女学院TOLANPU寮

2011年12月29日15時48分発行